



ためらい ふれて
削りだす

幼ない動きながらも
力いっぱい
目が光る

かけがえのない
しなやかさと逞しさを
めざすいとなみ

小さな指から
大きな夢が作られる

昭和52年8月1日 / 編集・発行 / 岡崎市教育委員会



(全校一斉 朝の手仕事 — 羽根小)

教育随想

百日草



文・絵 糟谷正孝

隣から百日草の苗をいただいた。畑の隅に一列植えたが余ったので、庭の一角と鉢に分けて植えた。日が経つにつれて位置の差が目立ってきた。土のできた畑のものは茎が太く、濃い緑を密につけて枝が多く分れている。肥気のない踏み土のま、の庭のものは、萎えて生氣がなく拗れている。日陰に置いた鉢植えのものは、もやしのように背が伸び、枝分れがなく節の間が間遠で早く蓄をつけている。一か月でこんなに差のできたことにあらためて驚いた。

遺伝を底辺とし、教育と環境を二辺とする三角形が個人の成長の姿であることは、教育学の初歩に学ぶ原理である。人間は複雑で、要因が単純でないので分り難いが、植物は正直で判然と結果を物語ってくれる。

長い間教育の世界にすっぽり埋没して、生活のすべてが学校生活であった。予期したことなく、却て今まで気付かなかったことが急に曇りガラスを拭いたように見えてくることがある。学校教育は宿命的に集団教育である。ひとりひとりを見つめてと唱えながら学級集団という形をとらざるを得ない。就中美化と善意に包まれた教育実践において、思考が単純で公式的に陥り易いのである。児童生徒の一言一動に対して喜怒哀楽が直線的になり易いと思う。

の「遺教」の項を読んでいると、「一家親睦の箴」と題して次の話が載っていた。

「翁、遠島中常に村童を集め、読書を教へ、或は問を設けて訓育する所あり、一日問をかけて曰ふ『汝等一家睦まじく暮らす方法如何』と。群童封へに苦しむ。その中又も年長けたる者あり、進んで答ふらく『五倫五常の道を守るに在り』と。翁頭を振って曰ふ『否々、そは金看板なり。うはべの飾りに過ぎず。早速手を下すには、怨を離るる処第一なり。一つの美味あれば一家挙げて共にし、衣服をつくにも必ず善きものは年長に譲り、自分勝手を構へず、互に誠を尽くすべし』と。」

身につく教育は金看板を教えることではない。教師の体験と信念をもって子どもたちの現実に即した実践からはじめることが大切だと思つたことである。

プール開きの日。

腹痛(三人)、きもちが悪い(五人)、かぜひき(十人)、ぎょう虫卵がある(百二十人)でびっくり。よく見ると、じつと水をにらんでなきけな顔をしているのが虫っ子たち。規則だから入れられない。

「おい、虫のやつどこから入りやがった!」

「そりゃあ、手と口さ。」

「便所ですっかり手を洗わんでなあ。」

「薬を飲んで、虫は出るさ。」

「あいつ泳いでいいな。ちくしよう。」

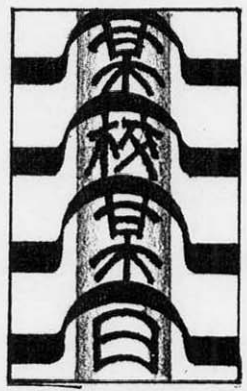
その後。

再検査の結果が待ちどおしくて、電話がくる。

「うちの子、虫のためプールへ入れないから、毎日怒って困ります。医者 の証明で入れてもらえませんか。」

「市で一斉に検査がありますから、もう少し待っててください。お願いします。」

待ちきれないのだから、次の日、りっぱな診断書(千円也)が届いた。



プールと虫っ子

田中愛子



ふるさとの自然

森林の舞姫たち

少年自然の家シリーズⅢ

「少年自然の家」で宿泊された方たちは、管理棟横の水銀燈に集まる、おびただしい数の蛾に非常に驚かれたことと書いています。

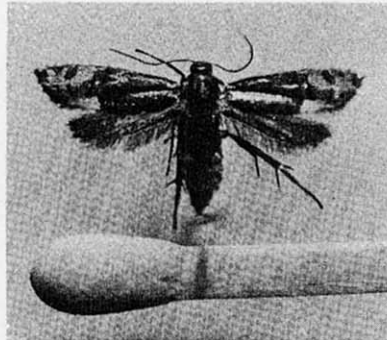
真新しい白い壁にべったりとついた、大きな蛾の群を見た瞬間、体中がかゆくなるような気持ちに襲われた人も少なくなかったことでしょう。しかし、そこで勇氣を出して蛾の姿を観察されると、きつと、「美しい蛾もあるものだ」と、感嘆の声をあげられるのではないかと思います。

蛾は、色の不鮮明さ、グロテスクな太めの体、飛び散る鱗粉などから、一般に「嫌われ者」となっているようです。蛾は、大きく、大蛾類と小蛾類に分類

されます。特に気味悪がられているのは、前者に多いようです。実害のある「ドクガ」のなかまも、この大蛾類に含まれています。ドクガの毒は体に毒があるという意味ではなく、鱗片がするどくとがっているため、皮膚に刺さり、神経を刺激するからです。そして、このドクガは、山の中には稀にしかおらず、民家の庭木で大発生することが多いということも特筆すべきことでしょう。

今、私が興味を持って採集しているのは小蛾類です。これは小さいもので開張(展翅)が五〜十ミリ、大きいもので二〜二十八ミリ程度の小型の蛾で、現在日本に生息する蛾が約三千種とされている中の約三分の一の千種が、この小蛾類として確認されています。

しかし、このなかまはまだ調査途上であるので、毎年新種が発表されている状態で、分類に興味を持つものにとつては大きな魅力のひとつでもあります。今のところ、小蛾類の中でもメイガ類は特に調査がすすんでおり八十種を確認できました。これは岡崎市に生息する予想種の八十パーセントに相当します。小蛾類は、図鑑だけでは分類不可能ということもあつて、今後とも力をいれていき



マイコモドキ (スケールはマッチ棒)

い、やりがいのある仕事です。

先日、日本でも、標本では数十匹しかないマイコモドキを三匹採集し、今までのものを合わせて五匹とすることができました。この蛾は実に美しく、前翅の基部半分が金緑色、外側の半分が黄色地に金色の斑点をつけている珍種です。

岡崎の蛾相から考えて、市内に生息すると予想される種は約千種、そのうち約半数の五百種がすでに確認できました。

水銀燈に集まる蛾を見て、「いったいこれだけの蛾がどこから……と考える方も多いと思います。しかし、日中、山を歩けば、木々の間をヒラヒラと舞う蛾の数の多さに、なるほどとうなずかれることでしょう。夜間、灯のまわりで舞い狂う姿だけでなく、木もれ日の中を、もの静かに舞う虫たちの姿も、ぜひ見てやってほしいものです。

(河合中 三浦重光)

話をしだすと口がすべるもので、漫画の主人公を持ち出したものの、ガッチャの説明ができません。時間切れとなった。

次の朝は、脱兎息子の由来の話でお茶を濁して、その次の日も名前の話が続くが、ガッチャは未解決。英語の先生曰く、「ガッツマンのことじゃないかん。」

「えー、二晩考えてみて、ガッチャマンとは」とやり直すと、

「先生もしつこいねえ」と生徒たち。

「みんなもこのくらいがんばらにやあかんのだ」と、「余録」ならぬ付録がついた。

(南中)

今、私が興味を持って採集しているのは小蛾類です。これは小さいもので開張(展翅)が五〜十ミリ、大きいもので二〜二十八ミリ程度の小型の蛾で、現在日本に生息する蛾が約三千種とされている中の約三分の一の千種が、この小蛾類として確認されています。

しかし、このなかまはまだ調査途上であるので、毎年新種が発表されている状態で、分類に興味を持つものにとつては大きな魅力のひとつでもあります。今のところ、小蛾類の中でもメイガ類は特に調査がすすんでおり八十種を確認できました。これは岡崎市に生息する予想種の八十パーセントに相当します。小蛾類は、図鑑だけでは分類不可能ということもあつて、今後とも力をいれていき

い、やりがいのある仕事です。

先日、日本でも、標本では数十匹しかないマイコモドキを三匹採集し、今までのものを合わせて五匹とすることができました。この蛾は実に美しく、前翅の基部半分が金緑色、外側の半分が黄色地に金色の斑点をつけている珍種です。

岡崎の蛾相から考えて、市内に生息すると予想される種は約千種、そのうち約半数の五百種がすでに確認できました。

水銀燈に集まる蛾を見て、「いったいこれだけの蛾がどこから……と考える方も多いと思います。しかし、日中、山を歩けば、木々の間をヒラヒラと舞う蛾の数の多さに、なるほどとうなずかれることでしょう。夜間、灯のまわりで舞い狂う姿だけでなく、木もれ日の中を、もの静かに舞う虫たちの姿も、ぜひ見てやってほしいものです。

(河合中 三浦重光)

プール開きが、思いがけなく駆虫に拍車をかけてくれた。

「虫退治は手洗いか、よし洗うぞ」

おかげで、わたしは消毒薬の補充などに目が回る思いをしている。(広幡小)

はなしはずんで

石原 比朗志

朝の会に「天声人語」のような話がないものかと、一日一話を思い立った。毎日となると、話題に窮する時がある。教室に入ってもいまだ決まらぬ時、生徒の一分間スピーチに、スーパーカーの話がでた。これ幸いとばかり、

「スーパーカーの意味は知ってるかな。スーパーマンというのがあるって、日本語で言うなら超人だ。スーパーというのは、超えるという意味で……超えるといえ、ウルトラも同じだな。だから、ウルトラマン。……ほかにガッチャマン——」。

話をしだすと口がすべるもので、漫画の主人公を持ち出したものの、ガッチャの説明ができません。時間切れとなった。

次の朝は、脱兎息子の由来の話でお茶を濁して、その次の日も名前の話が続くが、ガッチャは未解決。英語の先生曰く、「ガッツマンのことじゃないかん。」

「えー、二晩考えてみて、ガッチャマンとは」とやり直すと、

「先生もしつこいねえ」と生徒たち。

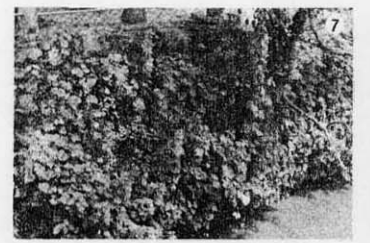
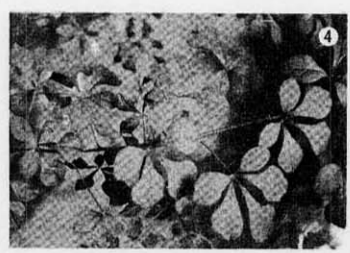
「みんなもこのくらいがんばらにやあかんのだ」と、「余録」ならぬ付録がついた。

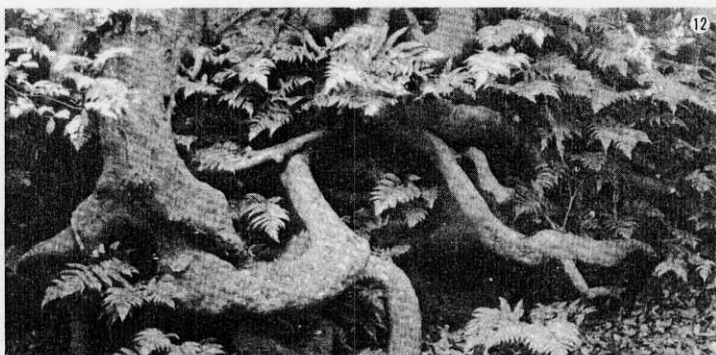
(南中)



古城に茂る植物にも外来種がふえてきている。昨今、今回は、兵どもが夢の生き証人たる岡崎っ子植物をさぐってみました。はてさて、それは何。

- ① イヌビワ にわとり坂付近によく見られる海岸性の植物。かつては潮風がこの付近まで吹き込んでいたのだろうか。イチジクに似た実がなる。
- ② カクレミノ 市内では丘陵地の低木としてよく見られる常緑広葉樹。タブとともに暖地性の植物である。
- ③ ハリギリ 下駄やタンスの用材として重用される。
- ④ ヒメウコギ 昔、中国から渡来し、野生化した薬用植物。ヤツデ、カクレミノ、ハリギリ、後に出てくるキツタ、いずれも同じウコギ科の植物である。
- ⑤ ウシゴロシ カマツカ(鎌柄)とも呼ぶ。枝が強靱。
- ⑥ ヤブソテツ 常緑羊歯。ベニシダ、イノデと共に多い。





- ⑦ 濠の石垣に生い茂るツル植物。クズ、ツタ、フジ、テイカカズラ、ヘクソカズラ……。
- ⑧ カラムシ この茎から麻をとる。昔、三河武士の衣服とされたか？管生川畔に多い。
- ⑨ ヤブミョウガ ミョウガ、ミズヒキとともに空堀の底に群落をつくる。今が花時。
- ⑩ ツルウメモドキ 秋には赤い実がすずなりになる。野趣満点な柵作り。
- ⑪ キツタ 喫茶店などでもはやされる観葉植物「ヘデラ」と同種。園内一帯に分布。
- ⑫ ムクノキの根元、この堀のまわりにはムクノ

- キの巨木が茂り、ムクドリがとび交う。根元はベニシダ。
- ⑬ シノブが着生したクスノキ。
- ⑭ オカメザサ 小動物園前の堀の中に大群落をつくる。
- ⑮ 橋のたもとに生える一対のクスノキ。何かの記念樹か、偶然か。
- ⑯ ヒマヤサスキの雌花。よそのものながら、岡崎公園の歴史とともに生きる巨木ぞろい。緑の魅力は書きつくせないが、ひと昔前にくらべて、やや植性が貧弱になったようである。

劣等感

六ツ美中 杉浦健支

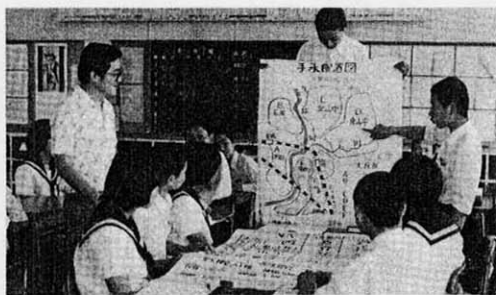
生徒の人間関係を見ていると実におもしろい。必ず共通の悩み、欠点を持っている者どうしが、仲良くなるということだ。数学のテストで百点をとった者が二人いたとして、その二人はライバルで終わる。しかし、零点をとった者が二人いれば、それは難なく心が通じ合って、意気投合してしまう。実に不思議な現象である。

本好きな子に

根石小 江崎智枝

「先生、何を持つとる？見せてよ。あ、本だ！お話の本だ。」
「読んでくれるの？」
五月のある朝、数冊の絵本をかかえて教室にはいると、めざとく見つけた子どもたちが、集まって来ました。

「早く読んでよ！」
この日、私の予定はS Tの時間に「読み聞かせ」をして、読書への足がかりを作りたいと考



えていたのです。しかし、子どもたちのこの声やその時の目の輝きを見ては、朝の会の時間に読み聞かせをやらざるを得なくなりしました。子どもたちはこの日から一日一回、お話の本を読んでもらうことを楽しみにしはじめたのです。

わたしには、「読書指導」といったむずかしく、かたぐるしいことはよくわかりません。ただテレビっ子といわれている今の子どもたちが、少しでも本好きになってくれることをいつも願って、いろいろな方法で「読み聞かせ」をしてきました。あ

先日、社会科の宿題を出しためつたに宿題など出したことのない私であるが、その宿題はかなり難解なものだ。

クラスのA君。やや、学習に對して意欲のない生徒である。提出期限が迫っているが、どうしてもうまくできない。そこであつちこつちの友だちに電話をした。しかし、彼は宿題が完成したという友だちには「そうか」と言つて電話を切つてしまい、「まだだ」といった友だちの所へ、宿題をかかえてたずねてい

教育日々



る時には、物語の途中までを讀み聞かせ、
「この後はどうなるのだろう？自分で読んでごらん。」
と、読書への動機づけをしてみたり、

「この続きを考えて、自分でお話を続けてごらん。」
と、物語の結末を想像させ、話し合つたり絵にかいたりして読書への関心を深めて来ました。子どもたちは、ほんとうに本が好きなのです。現在、三十七名の子もたちが、雨の日に、

こうとしたという。これをわきで見ていたA君の母親。どう考えても理屈が合わない。

「それじゃあおまえ、何にもならないじゃあないか。B君はとつくにできているらしいから、そこへ行つて教えてもらつていらつしやい。電話をかけるのがいやなら、お母さんが頼んであげるから。」
しかし、A君は、きつぱりと断つた。

「いやだよ。いかないよ。」
この話、A君の母親から後で聞いたことであるが、私には、思いあたることがあつた。どこ

かの心理学者？の実験例であつたと思うが、子どもの能力を伸ばすのに、二歳年下の子どもの中に入れて、その中の大将にさせた。そうすると優越感という自信がわいてきて、好結果が出たという話だ。つまり、この逆も成り立つということだ。生徒が劣等感を持つたらもうおしまい。意欲など全くなくなつてしまふ。

A君の行動は、この劣等感からきたものではなからうか。そこで、私はおそまきながらA君の宿題をクラスでほめたたえたのである。

給食時の後に、朝の十分読書にと、だれからとなく学級文庫の本を読み始めるようになりまし。そして掃りの会には、
「今日は、本の紹介をする人はありませんか。」
と、わたくしの知らない間に日直の子が、ごくあたりまえのことのように、みんなにたずねるようになって来ました。

子どもたちが自分から進んで本を選んで読んでくれるようになるまでには、ずいぶん時間と根気がいると思います。
わたしは、今、その一歩を踏み出したところなのです。





時計草

【寄贈刊行物・資料等】

◇みどりはおもて 岡崎市立緑丘小学校著 開校二年間の学校建設の歩みと、緑丘小教職員がみどりにもえる丘に具現したい児童像を求めた実践の記録。A5判二五〇頁

◇本宿小史

本宿小PTA郷土史クラブ編 二年間にわたるサークル活動の成果として発表した父母手づくりの郷土史。自然・移り変わり、神社・寺院・信仰・伝説と遺跡歴史の中の人々、古きを尋ねての六章。B5判一七七頁

バス五台を連ねて社会見学

岡崎ライオンズが全市の特殊学級児童を招待

市内小学校特殊学級、一七六名の児童に楽しい一日を過ごしてほしいと、今年も岡崎ライオンズクラブ(細井勝会長)から市特殊教育推進協議会々長(太田昇・六名小学校長)宛にバスによる社会見学と激励会へ招待する旨、嬉しい申し出が届いた。早速ご厚意をお受けして協議の結果左記のように実施されることに決定した。

ジュース、画用具一式、遊戯券等が提供される。

海外研修手帖刊行

今年も多くの先生が海外に眼を開き、海外研修を進めようとするとき、計画を進めてみえるとき、外国語を全く必要としない生活が裏目に出て、言葉で苦労されるのがまず想像できる。ちなみに言語が通用するかどうかで、旅の楽しみが決まるとさえいわれている。

岡崎市史編集委員 について調査委員決まる

本年度から十年計画で刊行される新岡崎市史の編集委員が去る六月二十二日、内田市長から委嘱されたが、七月十五日、市教委から調査・資料収集にあたる調査委員が次のように委嘱され、ただちに調査活動が開始さ

れる。

- ▼原始、梶尾長夫(愛教大附中)
- ・塚本春美(矢東小)・白井正
- ・庄(愛宕小)・中川聖子(前山
- 小)▼古代、佐々木公磨(矢北
- 小)▼中世、江端武(福岡小)
- ・川路和夫(美川中)・北川英
- 雄(矢西小)・杉浦尚夫(連尺
- 小)・巽俊雄(幸田高校)・長
- 坂則彦(大樹寺小)・長坂博幸
- (岡崎小)・細井義雄(羽根小)
- ▼近世、足立多嘉丸(南中)・
- 稲垣哲也(福岡小)・大山一男
- (竜海中)・金山登一(矢作中)
- ・渋谷環(六名小)・中根恒夫
- (三島小)・村上信良(根石小)
- ・山内博史(葵中)▼現代、石
- 川守彦(矢北小)・石川雅彦(
- 竜海中)・神尾昌彦(六ツ美中)
- ・近藤正義(緑丘小)・杉浦健
- 支(六ツ美中)・高木広和(城
- 南小)・中山昌司(矢作中)・
- 福応謙一(六名小)▼民俗、浅
- 井敏(岡崎工高)・板倉常治(
- 美合小)・板倉登(知立小)・
- 内田明夫(矢東小)・鈴木欣也
- (本宿小)・鈴木忍(美川中)
- ・中村武志(高浜高)・正木昭
- 一▼事務局付、伊子田照和(大
- 樹寺小)・内田松夫(県教育セ
- ンター)・糟谷正孝・新行和子
- ▼事務局、岩月栄治・小林吉光

月報余滴

六月半ば、神谷葵水先生から、藤井丙午氏の「六然」の出版がわかってスッキリした旨の電話を頂戴した。先生は五月初めから、勝海舟の語と伝えられる六然の原簿を探し続けられ、愛教大史学の吉永昭教授にも尋ねられた。依頼を受けた吉永先生は自ら文献をあたる一方、勤草社版勝海舟全集執筆者の一人大口雄次郎氏に照会されるなどの結果、勝海舟の語と誤り伝えられるものは中国清代の学者関度の著「聴松堂語鏡」に出ている明代の土崖鏡の語であることがはつきりした。

揮毫に当たってどんな語句文字を選ぶかは書家の見識であろう。その語意・語源をじゅうぶん心得たのちようやく筆を執られる先生の書に対するたしなみと、たとい恩師から寄せられた座右の銘の文字とて、疑問を持ち、これを解き明かそうとする求道究学の厳肅さに感動を覚え、襟を正す。

(連尺小長 植田梅芳)

みよし燈籠

岡崎市能見町に不動山（成田山貞寿寺）がある。門を入った右側に、一メートル五、六十センチほどの墓石のような織部型燈籠がある。燈籠の正面に「みよし」と大きく刻まれているのが目につく。

岡崎地方史によると、伝馬町中之切の、今の杉山薬局の西隣に「美与之」という屋号で、西洋小間物を商う松山善五郎という人が店をかまえていた。

松山善五郎は、奇篤な人で、

道々の辻に供養のための道しるべに燈籠をたてた。彼の善行にちなんで「みよし燈籠」の別名を生んだといわれる。

現在、みよし燈籠は、六名の池上年氏、能見の福尾和男氏などの庭園に残っている。なかでも福尾氏の燈籠には「左伝馬連尺、右岩津真福寺」と道しるべが刻まれている。

なお、松山善五郎の孫が女優の高峰秀子の主人の脚本家で有名な松山善三である。



点

所在地 岡崎市能見町 成田山貞寿寺内

カット

矢南小 大 村 寛

この本を

○発達のおくれた子どもの日常指導

教育出版 抽木 馥 ￥1,300

○おやじ待望論 樋口 清之 ￥980
千曲秀版社

○作家論控帳 白井 吉見 ￥2,800
筑摩書房

○今日は明日の前日 犬養 道子 ￥850
中央公論社

○時間の風景 山田 宗睦 ￥1,800
田畑書店

○苦しいからもう少し生きてみよう 大和出版 鈴木 健二 ￥680

○小さなこだま 岡部伊都子 ￥1,300
創元社

○近松物語りの女たち 水上 勉 ￥980
中央公論社

○いろいろな幾何学 小松 醇郎 ￥280
岩波書店

○菅江真澄 秋元 松代 ￥1,200
朝日新聞社

オアシス

おみなえし、はぎ、ききょうの花など七草の模様をさらりと手描きした盆ちようちん。これを一年に一回とり出して組み立てる。ろうそくでない電気のおかげに代わってしまっただけでも、これに静かな灯がともると、心がなごむのが不思議である。かたづけると、もう秋がしのび寄る。

知つとるかあ。

わしらの若い時はなあ、暑い時は綿入れを着重ねて我慢会。寒い時は寒中水泳で、体と根性を鍛えたんだぞお。何だ、だからだとして、だらしがない……。

喝、入れられちゃったな、もう……。頭張らなけりや、年寄りに笑われる。

しかし、蟬のやつ、うるさいなあ……。

「暑いですわね。」時候のあいさつもできない父親がいる。学校へ来ても、担任でない、会釈もしない母親がめだつて。子どもの指導に、いくら意気込んでみても、とりまく大人たちがこれでは困ったものである。

心のふれあいは、ちよつとしたあいさつからはじまるものなのに。

菅生河原の花火は、人混みを離れた遠くから眺めるのがよい。少し遅れて聞こえるドンが、郷愁をかきたてる。河原の精霊流しは、流水に名号をゆらめかして拝するがよい。雑踏の中の静寂に、浮薄な心も、しばし結晶する。暑さの中に伝わる風物の、なんと涼やかなこと。先人の知恵をしきりに思う。